

2013年9月18日

会員の皆様へ

一般社団法人日本心理臨床学会  
理事長 鶴 光 代

### 第33回秋季大会の会場・日程変更についてのお知らせとお願い

会員の皆様には、学会活動へのご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、来年の第33回秋季大会は、学会のホームページや学会誌の会報欄で既にご案内いたしておりますが、会場に予定していました東京国際フォーラムの使用上の諸事情により、以下の会場変更とそれに伴う日程変更の要望と提案が、数名の業務執行理事および大会実行委員会の山口豊一委員長（跡見学園女子大学）から急遽提出されて参りました。

会場変更： 東京国際フォーラム ⇒ パシフィコ横浜  
日程変更： 2014年9月19(金)～21日(日) ⇒ 2014年8月23(土)～26日(火)

上記を受けて、下記の1から5の事項を中心に業務執行理事、大会委員会で協議・検討しました結果、会員の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、会場使用上の安全性を第一とする立場から、会場・日程を変更することを是とする意見が多数となりました。そこで、第33回秋季大会の会場・日程変更を決定し、手続きを進めることとさせていただきます。

つきましては、来年度の第33回秋季大会は、会場を「パシフィコ横浜」とし、日程を「2014年8月23(土)～26日(火)」に変更させていただきたく存じます。

今回の変更を、急ぎ、会員の皆様方にお知らせすると同時にホームページ上でも公告し、また、日本心理学諸学会連合に加盟している心理学関係の49団体をはじめ関係団体にもお知らせしていく所存です。

(会員の皆様には、本お知らせ文を他の郵送物と一緒に、10月2日に発送する予定です。)

これからも、年次大会開催についての検討と改善は引続き行ってまいります。本件につきましての会員の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 第33回秋季大会の会場・日程変更検討にあたっての諸事項

1. すでに公表されている会場及び日程の変更には、会員からの不信や他学会への社会的責任が伴うので慎重に検討すべき。
  - ・ いろいろ問題があるのならそれを解決すべく考えるのが大事。跡見学園女子大学の校舎で、少し企画することで、十分危険を回避できるのではないか。  
(山口豊一委員長によると、9月19～20日はオープンキャンパス開催想定のため、使用不可の可能性あり。)
  - ・ 提案の時期が遅すぎた。先日の大会の会員の集いでも議長から次期大会の場所と期間が正式に報告されたばかりであり、会員に周知されている。現時点から進める変更は、社会的な判断および責任からは困難である。

2. 東京国際フォーラムでは、その会場の構造上、予想される参加者人数を収容しきれず大きな混乱が生じる恐れがあり、事故につながる危険性もある。
  - ・東京国際フォーラムの会議室棟（ガラス棟）は、会議室がある4フロア合計の会議室定員が1,650名弱であり、会議用の収容人数はきわめて少ない。  
なお、会議室棟ではエレベーターが主動線となり、廊下等のスペースも狭いため、部屋が満室になった際や、セッション終了・開始時の入れ替えの際の危険性を無視できない（混雑したとき、逃げ場がない）。
3. 東京国際フォーラムでは、会場の部屋数上、ポスター発表以外の個人発表形式を確保することがほとんど難しい。
  - ・ポスター発表用の会場（地下展示ホール）は広く、企画シンポジウムや講演用のホールは大きいものが3つ（1,500名×1,600名×2）は確保できる。しかし、個人発表形式に適した広さの部屋を確保することが難しい。  
（東京国際フォーラムでの開催は、安全性の確保のために、会員の研究発表はほぼ全てポスター形式とするしかないという前提で検討されていた。）  
しかし、会員からの個人発表形式の要望は強い。パシフィコ横浜であれば、個人発表形式をある程度確保することができる。
4. 経費の観点から（東京国際フォーラムの違約金を払っても）、パシフィコ横浜の方が低価格。
  - ・東京国際フォーラムのキャンセル料は、約490万円
  - ・東京国際フォーラムの会場・機材費は約5,900万円、パシフィコ横浜の会場・機材費は約4,200万円
5. 実行委員会山口豊一委員長（跡見学園女子大学）から、当会理事長宛ておよび大会委員長宛てに、パシフィコ横浜への変更願いが出てきている。